

国際ロータリー 第2550地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ゲイリー C.K. ホアン
 第2550地区ガバナー：長嶋 一郎
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：澤田 吉夫 幹事：瀬尾 紀夫
 事務局：(株)瀬尾本店：瀬尾紀夫
 〒325-0056 那須塩原市本町6-10
 TEL:0287-62-0044・FAX:0287-62-0238
 E-mail:seohonten@nasuinfo.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町5-5

第2668回 澤田年度 第29回 会報 2015-01-28 司会 高根沢邦夫 君

🌀 お客様

那須塩原市国際交流員 アリス パッキエ様

🌀 会長挨拶 澤田吉夫会長



毎日テレビや新聞紙上をにぎわしている、中東イスラム国の人質問題は非常に遺憾に思う次第です。いまや日本人は世界各国の隅々まで出向き、活躍しているわけですから、本当にこのようなことがあっては、困ることです。

一刻も早い人質の無事開放を願う次第です。

さて本日は少し私の今やっている仕事についてお話をしたいと思います。

縁ありまして3年前から那須塩原市の森林組合にお世話になり、今は地元の奥山林や里山林などの管理などを手がける仕事をしております。

学校、公園、その他の公共施設内の樹木の管理や自宅林の管理など幅広く仕事をさせて頂いております。個人経営ではなく、組合運営の為、公共性が高い仕事

です。栃木県内には11の森林組合が御座いまして、そのうち県北には5つの森林組合があります、北は那須森林組合、大田原森林組合、那須南森林組合、高原森林組合、そして私のところの那須塩原市森林組合と言うわけです。この5つの組合にて県北の国有林やら民有林など山林の維持管理を行っているところです。

近頃は福島原発で仕事が無くなった、東北の個人業者が来て山林を伐採しているところが多く見受けられます。計画的な管理をしませんと、虫食い状態になり、荒地になる可能性は多々あります。

国では自然環境の保護やら自然災害等の防止など山林環境に力を入れております。そのため組合では計画的な伐採やら植林を進めておりますので、このことに関連したことでご相談いただければ、後々の植林やら、下刈りなどの管理面等で補助金などの手続きなどを経て、金銭面での維持管理が軽減されるものと思います。皆様も山林等お持ちでしたら、是非等組合にご相談いただければと思います。

近頃は公共の施設も木造で作るという動きが出てきております。又今は自然エネルギーの再利用で火力発電等にも木材が使われるようになり、需要が増えてきております。もうすでに近隣でも稼働しているところもありますし、近い将来には何箇所かの施設で稼働する予定でおります。

🌀 幹事報告 瀬尾紀夫幹事

1. 大田原ロータリークラブより週報が届いております。(第2680回～第2683回)

出席報告 出席委員会 小野安正君 (出席規定の適用免除会員数2名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 1月28日	40(2)	33(2)人	7(0)人	82.5%	*	
前回 1月21日	40(2)	32(1)人	8(1)人	80.0%	5人	92.5%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128, FAX62-1076(以上石山桂子)

メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

2. 那須塩原市国際交流協会より、ニューイヤー交流会の案内が届いております。
3. IMの出席数の返事を締切日の1月26日、報告いたしました。出席数:23名(バス利用16名、直行7名)
4. 2月のロータリーレートは1ドル=118円です。

🌀 委員会報告 村山茂副会長

無し

🌀 卓話 高木慶一地区委員

高木地区委員

今年度初めて、2013-0014台湾花蓮から1年交換学生として来ていたニコルの地区3470地区から、インターアクトクラブ日本訪問団30名が2月25日から3月1日まで日本にやって来ます。地区インターアクト委員会が受け入れいたします。日本からは今年も3月26日から3月29日まで台湾に海外研修に行きます。黒磯高校から片山沙織顧問と阿久津瑞希さんが参加します。黒磯高等学校インターアクトクラブは、平成16年6月6日に齋藤武久会長、月江寛智実行委員長の下で創立されました。月江寛智先生は2008 - 2010地区インターアクト委員長を務められました。地区の報告はこれくらいにして、今日のお客様であります、アリスパッキエさんに卓話のお願いしていますのでよろしくお願い致します。

アリス パッキエ様

アリスが生まれたところ、国際交流員の仕事

日本に来てびっくりしたこと



私は那須塩原市役所の市民協同推進課国際交流員のフランスから来たアリスと申します。オーヴェルニュ地域圏の出身です。フランスの中南部、中央山塊に位置する地域圏で、面積は日本の近畿地方と同程度26,013km²、人口は沖縄県程度1,329,708人で、山脈や休火山を持ち、肥沃な土地に湖や牧草地帯が広がっているところです。オーヴェルニュ地域圏は、4つの県に分かれています:ピュイ=ド=ドーム県、アリエ県、カンタル県、オート=ロワール県。



オーヴェルニュには火山もあります

オーヴェルニュ地域の魅力といえば、チーズ、温泉、牧場、スキー場、火山、中世時代の建物などです。そして、オーヴェルニュ地域はフランスのAOC(原産地呼称統制)である指定を受けているチーズの一覧の30%を生産しています。5つのチーズは結構有名です:カンタル、ブルー・ドールヴェルニュ、フルム・ダンペール、サン・ネクテルチーズ、サレール。そのチーズを利用する料理も様々です(グラタンやアリゴなど)。私が生まれた県は、アリエ県と呼ばれています。一番有名な町はムーラン市とヴィシー市です。ムーラン市はアリエ県の県庁所在地で、地名はアリエ川沿岸に点在する風車小屋に由来するとされます。ステンド・グラスで知られるノートル・ダム大聖堂など、歴史的な文化遺産が数多く残っている町です。夏は、中世時代のテーマの祭りも行われていて、にぎやかになります。ヴィシー市は、温泉保養地があるおしゃれな町です。私が育った村はとても小さくて、人口が1,623人しか住んでいないリュージュニー村です。

私の国際交流員の仕事の主な目的は3つあります。一番目は、那須塩原市のよさや魅力を発見してから、日本人と外国人に知ってもらうことです。もう一つの目的としては、フランスや私が生まれて育ったところの文化、習慣、日本と違うところを那須塩原市民に教えることです。最後の目的は、那須塩原市とフランスとの交流に力をいれて、貢献することです。

私は国際交流員として、様々な事業、チャレンジ、体験もできます。那須塩原市に来てやっているアクティビティの例をあげれば、ラジオ番組とか、PRの仕事とか、フランス語講座とか、学校訪問とか、海外派遣研修の通訳者とか、観光情報や外国人生活のガイドブックとメールの翻訳とか、フランスの文化について発表をすることなどです。私は那須塩原市に来てから、色々な経験ができてとても嬉しく思っています。仕事の場面だけではなく、個人的なレベルでもたくさん学

べました。浴衣教室や、合気道や、温泉巡りなどもとても気に入りました。

なお、日本に来てびっくりしたことは、トイレも自動販売機もコンビニもどこでもあることと、ゴミの分別、お店は日曜日もやっていることです。今もびっくりすることは、日本人が麺をすすする音と、チーズの値段、休みが少ない、店員さんに挨拶をする習慣はないことです。

私はこれから国際交流員としてやりたいことは、私が生まれた地域の学校と那須塩原市の学校との交流の機会を作ることです。オーヴェルニュ地域で、二人の日本人の友達が、学校で日本語や俳句、書道、折り紙、漫画の授業によって国際交流を促進していますので、私もそのお互いに、日本人とフランス人の若者の交流ややり取りができるように頑張りたいと思います。

黒磯ロータリークラブの皆さま、ご招待誠にありがとうございました。

☺ ニコニコボックス 荒井昌一 君

澤田 吉夫君 1月も終わり、残り5ヶ月となりました。

村山 茂君 最近少々新年会もあきてきました。

高木 慶一君 例会3分間スピーチと卓話担当です。宜しく御願います。

小野 安正君 全国167ヶ所、ハーレーダビッドソンディラーズスタンプ100%達成。

🌀 3分間スピーチ 高木慶一君

・・未来のために今できる事・・



もう先が見えもう後何年と言う、自分の未来と言うよりも、自分の子供達を含めてこれからの若い人、未来も希望も沢山ある人のために何ができるかと考えます。そのような考えでロータリークラブの青少年奉仕やインターアクト委員をやっています。今年、平成27年は戦後70年と言う年であります。私の父はこの大東亜戦争に参加して幸い生きて帰って来ることができました。生きた時代での幸不幸、自分ではどうしても出来ない時代に生まれて戦争に行き、負傷して帰って来ました。負傷しなければ戦線に復帰して戦死していただいでしょう。まさに塞翁が馬を地で行くようなものでした。どのような政権ができて、戦争はだめだと思えます。だから民間での国際交流国際理解が必要だと思えます。国どうしはもとより、国民一人一人の相互理解が必要だと思えます。

中国人が一番行きたい国はと問われると「それは日本です」と答える人が多いそうです。政権と民衆の考えは必ずしも一致しておりません。若い未来のある方、青少年の国際理解、国際交流は特に大切だと思えます。世界を知ること、異文化を知ること、若い時には特に必要だと思えます。

1月28日欠席(敬称略)

黒澤洋一・遠藤清和・秋間忍・植竹一裕・荒牧明二
深町彰・高木茂

前回1月21日分メイクアップ(敬称略)

小野安正・室井次男・植竹一裕・豊田哲司
福島泰雄

次回例会

平成27年2月4日

担当国際奉仕委員会

近隣クラブ例会日

火曜日 西那須野 / 割烹いとう 0287-36-0028

水曜日 塩原 / 塩原カントリークラブ 0287-35-2211

木曜日 大田原中央 / (有)勝田屋記念館 0287-23-4165

木曜日 大田原 / ホテル龍城苑 0287-24-2525

木曜日 那須 / ホテルエピナール那須 0287-78-6000

金曜日 黒羽 / ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：高木慶一・吉光寺政雄・齋藤武久・田中徹・植竹一裕